

モンゴル語版スクリーンリーダー  
完成！ (2018. 12. 26)



完成式会場の様子

パソコンやスマートホン画面を見ずに音声だけで使用できることを知っていますか？「スクリーンリーダー」とは、パソコンやスマートホンの文字情報を音声で読み上げるソフト。世界中の視覚障害者が教育、就労、普段の生活で使用しています。これまでモンゴル語のソフトがなく、その開発が長年の課題でしたが、この度、IT技術者と企業の協力により、ようやく完成。12月20日、プロジェクトスタッフは記念すべき完成式に参加しました。式には子どもから大人まで、当事者や家族、関係者が参加。未来を拓くテクノロジーの発表に会場は熱気で包まれていました。パソコンを囲んで、画面の情報を読み上げる流ちょうなモンゴル語に感激の様子。ITを活用した社会参加への期待がますます高まっています。

第5回合同調整会議 (JCC) の実施 (2019.01.17)

JCCは、モンゴル政府とJICAが活動報告と活動計画の承認を行う会議です。承認された活動は、

- 1月 障害者リーダー研修 (沖縄)
- 2月 タイ・スタディツアー
- 3月 物理アクセシビリティセミナー  
障害者白書の発行
- 6月 物理アクセシビリティ研修 (名古屋) など、

その他にも、障害統計整備、障害平等研修の実施、障害者権利委員会の報告、そして、CBID-AP2019 (地域に根ざしたインクルーシブ開発アジア太平洋会議) の開催と、非常に多岐に渡っています。CBID-AP2019は、7月2日、3日に実施される、モンゴルで初めての障害国際会議なので、ぜひ成功させたいと思っています。この機会に多くの方が障害問題を理解し、モンゴルで障害者の社会参加が促進されることを期待しています。

シンジルおめでとう！ (2018.12.27)



可愛いサンタたちと記念撮影～

ダウン症協会の皆さんが訪問12月26日、ダウン症協会の皆さんがプロジェクト事務所を訪ねてくれました。「シンジルおめでとう！」とあいさつ。たくさんのおみやげを届けてくれ、本物のサンタさんのようでした。ハムチーズサンドといちごケーキは手作り。最近、ゾリグ財団ビルの1階にカフェをオープンしました。平日11時から15時まで営業しています。「作り方だけでなく、あいさつやお仕事のマナーも勉強しています。」サンドイッチやケーキのバリエーションも豊富。皆さん、ぜひ食べに来て下さいね！

JICA DPUBのFACEBOOKページに「いいね」をお願いします。

おかげさまで、今ではページの「いいね」が3872件に達し、より多くの方に情報を発信できるようになりました。これからも、楽しんでいただけるような投稿を目指して頑張ります。引き続き、宜しくお願い致します。

## 国際的な障害統計を国勢調査に(2019.01.09)



東田専門家からの説明

1/8に国家統計局が主導する国勢調査のパイロット調査についての調査員向け研修会が行われました。56名の調査員に向けて、当プロジェクトも部分的ではありますが、協力させていただきました。冒頭、研修員に「障害とは何か」と問うてみると、「労働損失程度」や「医学的な心身の欠損」との答えがでました。また、前回の2010年の国勢調査でも、「障害の有無」のような項目は含まれていましたが、医学モデルに基づくものでした。今回の調査は2020年の国勢調査を見据えたもので、国際尺度のワシントングループ「短縮版の質問セット」というものを導入する方向で議論が進んでいます。これは、モンゴルの障害者権利法や国連障害者権利条約の障害定義にも沿っているとともに、社会モデルの考え方も反映されているものと言えます。とはいえ、まだまだ関係者の間で障害統計について様々な異なった理解があるので、引き続き勉強会や協議を行っていきたく考えています。

## 行政とNGOによる意見交換(2018.12.25)

第10回目となるNGO意見交換会が12月19日に開催されました。障害分野に関連する教育や労働についての法・施策について行政関係者からの情報提供が行われたほか、NGOからは障害のある女性と性的暴力の関係に関する調査報告等が行われ、会場と意見交換が行われました。いずれも重要なテーマであり、行政とNGOによる意見交換により、関連法や施策の改善がますます求められています。



千葉チーフアドバイザー

### JICAの仕事

アジア太平洋障害者センター。それがJICAがタイ政府と企画する新しいセンターでした。研修、ネットワーク、障害情報センターなどの3本柱で、アジア太平洋全域で障害者の社会参加を促進する取組で、社会にある障壁を削減する、2002年当時は新しいアプローチの事業でした。ただ最初は、そんなセンターがバンコクにできるんだな、くらいに思っていました。ところが、私のESCAP行きをサポートしてくれた河村先生が、センターの企画チームにも入っており、情報センターや情報アクセシビリティの担当として仕事をする気がありますかと打診してくれました。突然だったので、少し考えさせてくださいと返答したところ、では明朝まで待ちますと言われました。え、明朝？っと少し驚いたのですが、よく考えてみると、特に迷う要素もなく、翌朝、ぜひやってみたくと返答しました。

(つづく・・・)

### DPUB連絡先

#### Office:

Government Building – 2, United Nation’s Street – 5, Ministry of Labor and Social Protection

Ulaanbaatar – 15160, Mongolia

Facebook: <https://www.facebook.com/jicadpub>

Website: <https://www.jica.go.jp/project/mongolia/015/index.html>

E-mail: [dpub.jica@gmail.com](mailto:dpub.jica@gmail.com)